安全データシート(SDS)

1. 製品および会社情報

製品の名称	: FCカチオンボンドフィラー
製品コード	: 085011
会社名	: フジワラ化学株式会社
住所	: 〒799-1342 愛媛県西条市大新田94
担当部門	: フジワラ化学株式会社　社長室
作成者	: 矢野正徳
電話番号	: 0898-64-2421
FAX番号	: 0898-64-4034
E-mail	: info@fujiwara-chemical.co.jp
緊急連絡先	: 担当部門に同じ
製品の種類	: 下地調整材
推奨用途及び使用上の制限	: 下地調整、不陸調整など

2. 危険有害性の要約

分類の名称(分類基準は日本方式) : 該当しない

【GHS分類】

物理化学的危険性		: 分類できない
急性毒性	経口	: 分類できない
	経皮	: 分類できない
	吸入:ガス	: 分類できない
	吸入:蒸気	: 分類できない
	吸入:粉塵, ミスト	: 分類できない
皮膚刺激/腐食性		: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		: 区分1
呼吸器感作性	個体/液体	: 区分外
	気体	: 分類できない
皮膚感作性		: 分類できない
生殖細胞変異原性		: 分類できない
発がん性		: 分類できない
生殖毒性		: 分類できない
授乳に対する, または授乳を介した影響に関する追加		: 分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)		区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)		区分2
誤えん有害性		分類できない
水生環境有害性 短期(急性)		分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)		分類できない
オゾン層への有害性		分類できない

【GHSラベル要素】

・



危険

【危険有害性情報】

・重篤な皮膚の薬傷・の損傷
・重篤な眼の損傷
・臓器(呼吸器系)の障害

安全データシート(SDS)

・長期または反復暴露による臓器(肺)の障害のおそれ

【注意書き】

《注意事項》

(予防策)

・使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
・取り扱い後はよく手を洗うこと。
・粉塵／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
・保護マスク、保護手袋、長靴、保護眼鏡を着用すること。

(応急措置)

・皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
・飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・直ちに医師に連絡すること。
・暴露した場合:医師に連絡すること。
・気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

(保管)

・密閉して換気の良い場所で湿気対策を行い、施錠して保管すること。

(廃棄)

・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

《取り扱い上の注意事項》

・水と接触するとアルカリ性を呈しますので、取り扱いにはご注意ください。
・誤って飲み込んだ場合は、口をすすいでください。直ちに医師に連絡してください。無理に吐かせないでください。
・眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してくださ い。その後も洗浄を続けてください。直ちに医師に連絡してください。
・皮膚に付着した場合は、水や石鹸でよく洗い流してください。
・使用する時は、粉塵が飛散して吸入しないように注意し、保護マスク、保護手袋、長靴、保護眼鏡、保護衣等をを着用してください。
・取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
・残材・洗い水等は河川・池・下水・地下水などを汚染する場所には捨てないでください。
・袋、容器などの処理は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託してください。
・保管は高温多湿にならない屋内で行い、パレットを敷くなどして、床面より浮かしてください。
・水と接触の恐れのある場所や湿気の高いところ、凍結の恐れのあるところを避け、子供の手の届かない所に保管してください。
・施工に関しては、カタログ記載の注意事項をお読みください。
・取り扱いに際しては、製品安全データシート(MSDS)に従ってください。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　:　混合物

成分名	化学式	含有量	官報公示No (化審法)	CAS No.	備考

安全データシート(SDS)

炭酸カルシウム	$CaCO_3$	40-60%	(1)-122	471-34-1	
セメント		25-30%			
(セメント中)					
シリカ (Silicon dioxide)	SiO_2	0.5%	(1)-548	7631-86-9	労働安全衛生法対象物質
接着剤、糊材、他		20-30%			

4. 応急措置

暴露または暴露の懸念がある場合
- 医師の診断／手当を受けること。
- 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

吸入した場合
- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
- 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
- 付着物を布にてすばやくふき取ること。
- 大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナー等は使用しないこと。
- 外観に変化が見られたり，刺激・痛みがある場合，気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。

目に入った場合
- 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。
- コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- 直ちに 医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合
- 口に入れてしまった場合は、すぐに吐き出し、口内を水で良くうがいして洗浄すること。
- 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

(応急措置をする者の保護)
- 適切な保護具(保護メがね、防護マスク、手袋等)を着用すること。
- 換気を行うこと。

5. 火災時の措置

使用可能消化剤

水[○]、炭酸ガス[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]、その他[　　]

使ってはならない消火剤

消火方法
- 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
- 安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- 指定の消火剤を使用すること。
- 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
- 消火活動は風上より行う。
- 周辺火災に対応して，消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

安全データシート(SDS)

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置
- 作業の際には適切な保護具 保護手袋, 保護マスク, エプロン, ゴーグル等 を着用する。
- 屋内では換気をしっかり行う。
- 屋外の場合には, できるだけ風上から作業を行う。
- 周辺を立ち入り禁止にし , 関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項
- 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- 環境への放出を避けること。

封じ込めおよび浄化の方法・機材
(封じ込め方法)
- 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
- 大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあ注意すること。
- 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。
- 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
- 他の包材や廃棄物等についても、関係法規に基づいて処置をすること。
- 水での洗浄なども, 河川等への流出, 環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

(二次災害の防止策)
- 河川等に流入した場合は、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は手、前腕および顔 をよく洗うこと。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 換気の良い場所で取り扱うこと。
- 容器はその都度密栓すること。
- 付着したままの手で、眼などを触れないように注意すること。

(技術的対策)
- 換気のよい区域でのみ使用する。
- 取扱いは換気のよい場所で行う。
- 取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。
- 作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- 眼／顔面用の保護具を着用する。
- 適当な保護衣および眼／顔面用の保護具を着用する。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行うこと。

(安全取扱注意事項)
- 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。スプレーミストや蒸気が発する作業の場合は、局所排気装置を設置するか、またはフィルター付きの保護マスクを着用する。
  取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。

(接触回避)
- 情報なし

保管
(安全な保管条件)

安全データシート(SDS)

・日光の直射を避けること。
・高温を避け、冷暗所に保管すること。
・密閉して換気の良い場所で、施錠して保管すること。
・子供の手の届かない所に保管すること。
・一定の場所を定めて貯蔵すること。
・盗難防止のために施錠保管する。

(安全な容器包装材料)

・消防法及び国連危険物輸送に関する勧告で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度　　:

労働省　作業環境評価基準(土石、岩石、鉱物、金属)

E=2.9/(0.22Q+1)　　E:管理濃度(mg/m3)　Q:当該粉じんの遊離けい酸含有量(wt%)

労働安全衛生法　作業環境評価基準 3.0mg/m^3

普通ポルトランドセメント　1.37mg/m^3

許容濃度　　:

吸入性結晶シリカ

ACGIH(99年)　TLV-TWA　　0.025mg/m^3

日本産業衛生学会勧告値(2006年)

第1種粉じん　　吸入性粉じん　　0.03mg/m^3

設備対策

・屋内作業場で、特に粉塵が大量に発生する場合には局所排気装置を設置する。
・多量に扱う場合は集塵機を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

・作業を行なう場合には、適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具

・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具

・取り扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚および身体の保護

・長靴、保護衣を着用すること。取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他の保護具

9. 物理的および化学的性質

状態　　:粉末状、液体(ボンド)
色　　:灰色(粉体)、乳白色(ボンド)
臭気　　:なし(粉体)、カチオン臭(ボンド)
pH　　:水と接触すると12～13
融点　　:約1350℃(粉体)、約0℃(ボンド)
凝固点　　:情報なし(粉体)、約0℃(ボンド)
沸点　　:情報なし(粉体)、約100℃(ボンド)
引火点　　:情報なし
蒸気圧　　:情報なし
蒸気密度　:情報なし
密度(比重)　:2-3 g/cm^3(粉体)、約1 g/cm^3(ボンド)
溶解度　　:基本的に不溶だが、成分中の接着剤やボンド等は易溶

安全データシート(SDS)

分解温度　：情報なし
その他　　：爆発性なし、水硬性

10. 安定性および反応性

安定性	：紛体は水と反応して安定固化する。
避けるべき条件	：粉じんの拡散 紛体は水と接触するとアルカリ性を呈するので取り扱いに注意。
混接危険物質	：特に情報を有していない。
危険有害な分解性生物	：特に情報を有していない。
反応性	：自己反応性なし
その他の反応性情報	：特に情報を有していない。

11. 有害性情報

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

・普通ポルトランドセメント

局所効果

・水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(pH12～13)を呈し、眼や皮膚を刺激する。
・長時間付着した状況では、皮膚に炎症を起こす可能性がある。

感作性

・極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。

慢性毒性・長期毒性

・多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。

組成物質に関するその他の有害性情報

・特に情報を有していない。

製品に関する有害性情報

・製品としての安全性試験情報を有していない。

12. 環境影響情報

・土と接触した改良土からは、土壌環境基準を超える六価クロムが溶出する場合があるので、事前に試験を行い溶出量を確認すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

・固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄すること。
・廃壁材料、包装材料等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)して処理をすること。
・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
・柱等の施工目的としていないところについた壁材は、ウエス等で特に丁寧にふき取っておくこと。
・排水を下水道パイプに流すと下水道パイプがつまる場合があるので注意すること。
・洗浄水等の排水は、凝集沈殿、活性汚泥等の処理により、清浄化してから排出する。排出に関しては、水質汚濁防止法等に従って処理をすること。

汚染容器および包装

安全データシート(SDS)

・空の包装材料は内容物を完全に除去してから処分する。
・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

共通事項
・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
・袋に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
・粉塵のたたない方法で輸送すること。
・破袋、損傷、袋からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行うこと。
・湿気、水漏れに注意すること。

陸上輸送
・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
・荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付する。

海上輸送
・船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送
・航空法に定めるところに従うこと。

国連番号　なし
指針番号　なし

15. 適用法令

・労働安全衛生法　　名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(ラベル表示・SDS交付義務対象物
　　表示・通知対象　　シリカ(別表第9の165の2)

　　粉塵障害防止規則　塵肺法(石英)

・大気汚染防止法有害大気汚染物質(優先取組) 中環審答申の109　石英
・じん肺法
・作業環境測定法
・OSHA　　危険通知表示規格(29、CFR 1910,1200):同紙(ハザード)に表示してある通り。(シリカ)
・TSCA　　この鉱物はTSCAのリストに挙げられ、TSCAの4,5,6,7,12章で規定されている。(シリカ)

16. その他の情報

主な引用文献
・(社)日本塗料工業会編 「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」 改定初版
・(社)日本塗料工業会編 「製品安全データシート ガイドブック」 第4版 追補版
・(社)日本塗料工業会編 「MSDS用物質データベース」 第4版 追補版
・化学工業日報社 「化学物質管理促進法(PRTR・MSDS)対象物質全データ」
・化学工業日報社 「労働安全衛生法(MSDS)対象物質全データ」
・化学工業日報社 「毒物及び劇物取締法(MSDS)対象物質全データ」
・化学工業日報社 「化学品別 適用法規総覧」 増補新版
・化学工業日報社 「実務者のための化学物質等法規制便覧」 改定第2版
・(社)日本塗料工業会編 「塗料原料便覧」
・化学工業日報社 MSDS用語集

安全データシート(SDS)

・NITE[独立行政法人　製品評価技術基盤機構]　http://www.nite.go.jp/index.html
・日化辞Web[独立行政法人 科学技術振興機構(JST)]
http://nikkajiweb.jst.go.jp/nikkaji_web/pages/top.html
・原材料メーカーのSDS

[注意]

本データシートは、作成時または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改定いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。